

2021年 12月 21日

2021年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名: 特定非営利活動法人シニアSOHO世田谷

代表者・役職名 代表理事 木村 奈津子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

高齢者の防災意識を高める～スマホで「しゃべる防災備忘録」～ 活動地域: 首都圏

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2003年11月 会設立以来シニアのITリテラシー向上のためにパソコン講座開催
2010年全国に先駆けてiPad講座 最近はスマホ講座を開催
2016年独立行政法人福祉医療機構WAMの平成26年度「シニアの認知症予防のためのiPad講座事業」を受託
2017年9月に活動を認められ内閣府特命大臣表彰「社会参加章」を授与
2018年6月には内閣府の「高齢社会白書」に会の紹介が掲載

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

コロナ禍時代の防災・減災] 長期化しストレスを抱えた高齢者の孤立・孤独対策 として従来とは一味違う、スマホ講座を高齢者に紹介したい
[今回は「備える」に] 募集内容 の「備える」ための活動から、「備える」にフォーカスしました
[高齢者は忘れやすい] スマホの「メモ」アプリで「しゃべる防災備忘録」を作成し、簡単に防災備品のチェックができることで、高齢者の日ごろの防災意識を高めます

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

コロナ禍 基本的な感染防止対策を徹底し 受講者数も10名として開催
[災害時の情報収集]
①情報収集はパソコンよりスマホが便利
②災害時にスマホでできることを学びました
[孤立・孤独対策]
①コロナ禍で会えない遠くの家族や友人とスマホのLINEのビデオ通話でおしゃべりする方法
②災害時の連絡方法 LINEの活用 位置情報 安否確認の方法
③スマホの「しゃべる防災備忘録」で防災備品を簡単・らくらくチェック を学び、日ごろの防災意識の喚起に役立てましょう

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

◆講座概況

- ・コロナ禍での講座開催 講座回数:延15回 153名参加
- ・会場数は当初予定の4会場から5会場へととなりました 内4会場は 世田谷区社会福祉協議会にお願いいたしました
- ・世田谷区社会福祉協議会との打合せで 受講料を無料にし 集客 チラシ・メインテキストの印刷をお願いいたしました サブテキストの印刷は当方で負担いたしました
- ・他の1会場については 受講料を徴収し当方でメインテキストの印刷をいたしました
- ・今年は地震が多く発生。講座期間中も地震があり、教えてもらった「NHKニュース防災」アプリが役立つ!!と口々におっしゃっていただき、実践に活かされている手ごたえがありました。
- ・2日目に LINEのグループを作成しておりましたので「災害時に LINE で安否確認ができる」ことを即実践できました。

◆テキスト

- ・テキストは iPhone・Android スマホの両方で使える工夫をしました
- ・予想以上に Android スマホのご受講者が多く、機種・バージョン、受講者のレベルも様々でした。購入したばかりの方、スマホを長く使っているが電話とSMSのみしか使っていない方、アップデートをしていない・知らないという方が多くおられました。これから購入予定の方には当会の機材 iPhoneを貸出しました
⇒受講者から「この講座テキストがあれば災害時に助かりますね！」との言葉を多数頂戴しました。

◆講座終了後のアンケート

- ・防災という非常に大切なことを 楽しく学べました。
 - ・素晴らしい講座でした。本当に何度か受けたい講座です。
 - ・非常に 日常にも使えるので、より多くの人に受けていただきたい！
 - ・詳しく手取り足取りで指導いただきありがたかった。
 - ・音声で入力ができ 読み上げもできる機能は役立つ！と感心。他 感謝の声多数。
- ※助成金はシニアの防災意識、スマホでの防災対策の実践に役立っている実感がございます。
有難く活用させていただきました 感謝申し上げます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- ・シニアの中には、スマホへの拒否感や恐怖心がある方もおられます。
このような方々にどのようにしたらご参加していただけるかが課題です。
⇒シニアのデジタル格差解消のお手伝いもして参りますが、いかに広く、安心できる媒体で
広報できるかが最大の課題です。そのためにも、引き続き、世田谷区社会福祉協議会様との
協業は有効と考えます。
- ・障害者市民も災害弱者という点では、シニアと共通です。今後はシニア向けだけではなく障害者向けのプロジェクトをぜひ実施したいと考えます。
- ・資金的、人的リソースは潤沢ではなく、常に課題ですが、継続して地域社会に貢献できるよう、我々も工夫してまいります。引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

- ・参考資料あり

コロナ禍時代のスマホ有効活用講座

大人気!

高齢者の

防災意識を高めよう

LINE ビデオ通話でつながろう

2021年度 真如苑助成事業講

1日目

10月17日(日)

- ・ スマホを知ろう
- ・ スマホで調べよう
- ・ LINEで繋がろう

2日目

10月24日(日)

- ・ スマホは宝箱
- ・ 防災アプリの入手
- ・ 災害時にこそスマホを

3日目

10月31日(日)

- ・ LINEのビデオ通話
- ・ スマホを安全・安心に
使うには

スマホ初心者の方 ぜひにも ご参加ください!

爾 間

① 13:00~14:30 ② 15:00~16:30

会 場

三軒茶屋 キャロットタワー3階 市民活動支援コーナー内

受講料

2,000円 (①・②とも全3回)

募集人数

10名(先着順)

お申込み・お問い合わせ

NPO法人 シニア SOHO 世田谷



FAX/留守電のお申込み : (03) 3419-2646

E-mailでのお申込み : ggikuiku@gmail.com

☞左のQRコードを読みとりメールでのお申込みができます

〈写真補足資料〉 真如苑様 令和3年「市民防災・減災活動公募助成」事業報告書

NPO法人 シニアSOHO世田谷



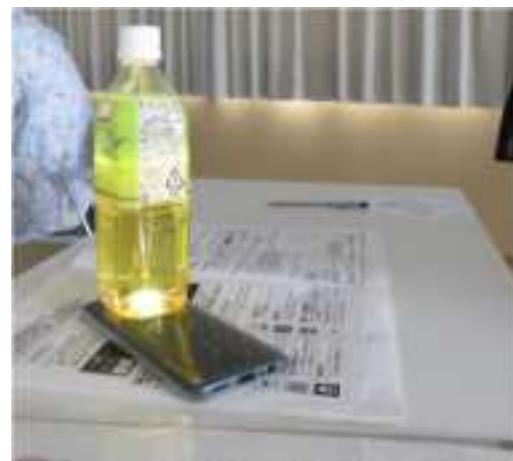
お一人お一人細やかにご支援



講座の様子



LINEグループ通話は役立ちます



停電時にスマホとペットボトルでライトの代わり

今年は大雨や地震も多かったこともあり、皆さま、大変役立ったと喜んでいただきました。必ずや実践につなげていただける手ごたえを感じています。ご支援、誠にありがとうございました。感謝です。

